

DCS - FG1~3

DAYLIGHT CONVERSION SYSTEM

この度は弊社製品<デイトシステム>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はフロントLEDフォグランプをデイト化するキットです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

★本文では<デイトシステム>を<DCS>と略して表示しております。

★本製品を取り付ける場合、一部車ではバンパー脱着作業が必要です。取り付けは必ず専門店にておこなって下さい。

お願い！ 本製品は性能向上などの理由により取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り扱い説明書を参考に取付作業、調整をおこなって下さい。

△ 危険 この表示を無視して、誤った取り扱い作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行く続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者にて点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業 をはじめてください。

△ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱い作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 本製品は車両電源がDC12V専用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因となります。
- カプラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカプラーを持って取り外してください。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

△ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱い作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しに強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

<付属品> ●接続ハーネス×1セット ●タイラップバンド×4本 ●エレクトロタップ×1個 ●ヒューズ電源(10A)

△ 警告 本製品はLED専用品です。ハロゲン・HIDバルブとの併用は出来ません。

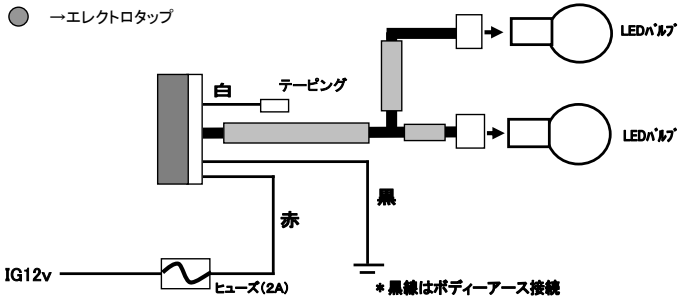
<取り付け方法>

- △ 注意**
 - ◎DCSは必ずLEDフォグと組み合わせて使用して下さい。ノーマルバルブと組み合わせて使用した場合、DCSが破損します。
 - ◎取付作業には配線加工をしますので圧着ベンチ、絶縁テープ等が必要です。
 - * 誤配線・接触不良等による本体破損はクレームの対象にはなりませんので慎重に取り付けてください。
 - ◎ヘッドライト・バンパー等はずして作業したほうがスムーズに取り付けがおこなえる場合があります。判断してから作業をおこなって下さい。
 - * 取り外し方などはディーラー、専門業者にて問合わせてください
 - ◎ハーネス類は運転の妨げにならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

【配線方法】 ★デイトヘカプラーにて接続して下さい。
★ハーネスの長さが足りない場合は、お手数ですが0. 3mm(AWG22)以上の太さの配線にて延長して下さい。

★必ずLEDバルブと組み合わせて使用して下さい。

● →エレクトロタップ



PSXバルブの場合



車両側カプラーとの吻合は、ロック部まで押し込んで下さい。約5mm程度空きますが、ロックが掛かるので、使用上は問題ございません。(製品の仕様です)

- ①左右のLEDフォグランプにDCSのカプラーを接続して下さい。
- ②抜いた車両側のカプラーは使用しません。テーピングをカプラーの端子部に水のかからぬよう処理して下さい。(重要！)
- ③DCSの白線は使用しません。テーピングして下さい。
- ④DCSの赤線をIG12v電源へ接続して下さい。
 - ヒューズより取り出し可能な車両は、テスターにてIG12v発生するヒューズを確認しヒューズ電源によって取り出しをおこなって下さい。
 - * 7. 5A~10Aヒューズより取り出し可能
 - ヒューズより取り出しが出来ない車両は、テスターにてIG12v電源を探してエレクトロタップにて接続して下さい。
- ⑤DCSの黒線を確実にボディーアースして下さい。
- ⑥DCSのハーネスをエンジン駆動部等に干渉しないようにタイラップバンドにて配線を固定して下さい。

【保安基準について】 当社では下記の内容にて保安基準の確認をしております。参考にして下さい。
2011年8月(品川陸運局検査法人) 2012年1月(関東運輸局東京運輸支局)

デイト

- デイトという正式な規約はない、あくまで『その他の灯火』として保安基準を満たす。
- あくまで『その他の灯火』なのでスマールに連動して消灯・減光させる必要はない。
- 『その他の灯火』は、フロントは赤以外、リヤは白以外の色でなければならない。トラック、タクシー等の速度表示等と同じような場合は不可
- 走行中に消灯・点灯を繰り返すと『点滅しているとの見解から』保安基準を満たさない。
- 走行中に任意に消灯・点灯出来ると保安基準を満たさない。